

消 防 編

第1章 消防の概要

第1表 福井県常備消防体制(平成28年4月1日現在)

嶺北消防組合

設置年月日	S44. 7. 24
消防吏員	195人
消防ポンプ自動車	17台
救急車	8台

永平寺町

設置年月日	H18. 2. 13
消防吏員	37人
消防ポンプ自動車	3台
救急車	3台

勝山市

設置年月日	S36. 8. 1
消防吏員	37人
消防ポンプ自動車	5台
救急車	3台

福井市

設置年月日	H18. 2. 1
消防吏員	350人
消防ポンプ自動車	32台
救急車	11台

大野市

設置年月日	H17. 11. 7
消防吏員	55人
消防ポンプ自動車	6台
救急車	4台

鯖江・丹生消防組合

設置年月日	S44. 11. 1
消防吏員	112人
消防ポンプ自動車	9台
救急車	6台

南越消防組合

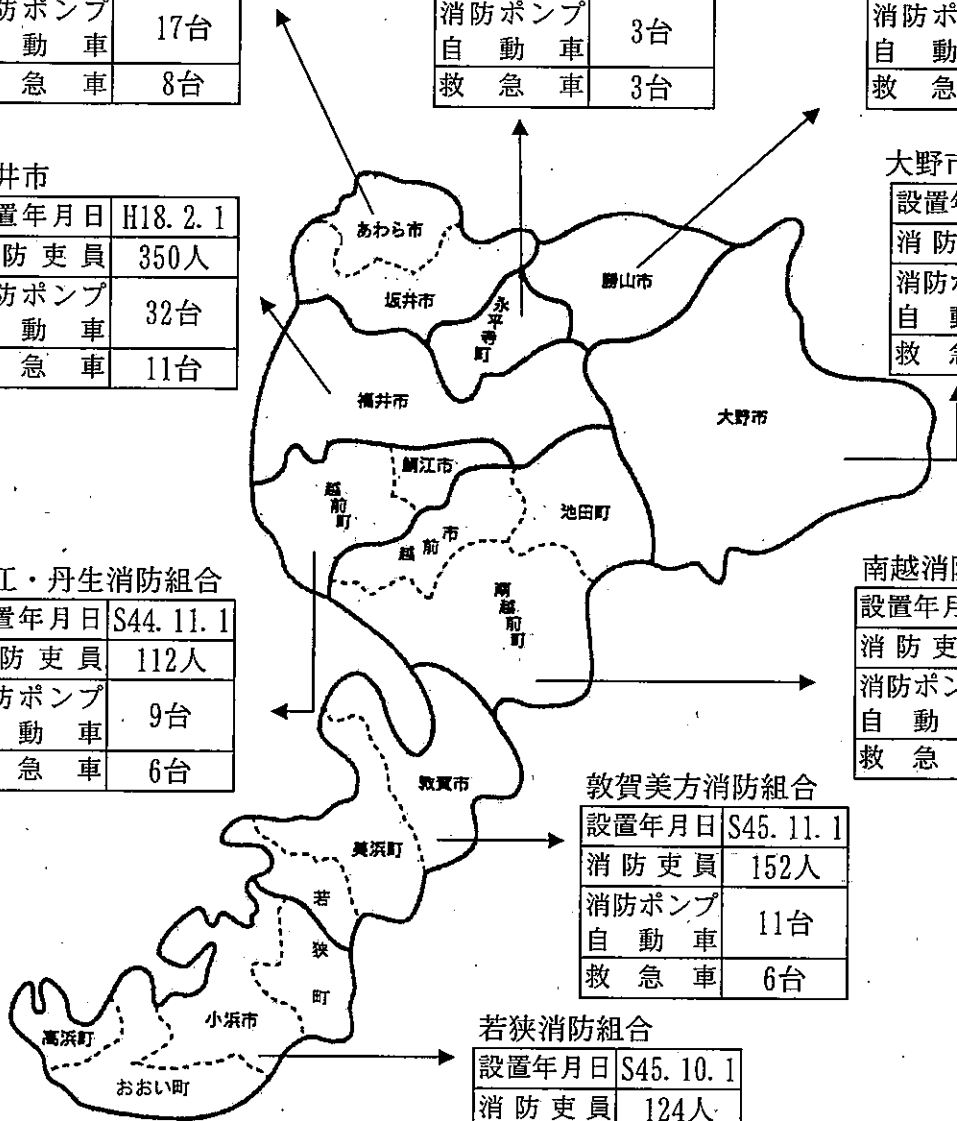
設置年月日	S45. 9. 1
消防吏員	144人
消防ポンプ自動車	14台
救急車	8台

敦賀美方消防組合

設置年月日	S45. 11. 1
消防吏員	152人
消防ポンプ自動車	11台
救急車	6台

若狭消防組合

設置年月日	S45. 10. 1
消防吏員	124人
消防ポンプ自動車	12台
救急車	6台



※普通消防車とは、普通消防ポンプ自動車であり、台数については消防団分を含まない

第2表 消防の概況表

面積 (国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」H27. 10. 1現在)		4,190.49 km ²	
平成22年国勢調査(確定値) 人口		806,314 人	
推計人口(平成27年4月1日現在)		783,382 人	
推計世帯数(平成27年4月1日現在)		279,768 世帯	
65才以上高齢者数(福井県の推計人口 平成28年1月1日現在)		223,804 人	
高齢化率 (")		28.8 %	
地域別人口	福井坂井地区(平成22年国勢調査 確定値)	409,332 人	
	奥越地区	60,757 人	
	丹南地区	190,821 人	
	嶺南地区	145,404 人	
27年火災状況	火災件数	185 件	
	うち	建物火災件数	106 件
		林野火災件数	3 件
	建物焼損面積	9,345 m ²	
	林野焼損面積	13 a	
	損害額	500,611 千円	
	うち	建物火災	485,363 千円
	死者(自殺者数内数)	9(2) 人	
	負傷者	22 人	
	出火率(人口1万人に対する出火件数) ※人口:平成27年3月31日現在	2.31 件	
27年動向救急状況	救急出場件数	27,759 件	
	うち	急病	16,936 件
		交通事故	2,751 件
		一般負傷	4,001 件
搬送人員	26,079 人		
消防本部・署所	消防本部	単独設置市	3
		単独設置町	1
		消防一部事務組合	5
	消防署数	19	
	出張所数	28	
	消防職員	消防吏員	1,206 人
		その他の職員	35 人
合計		1,241 人	
消防団	消防団数	18	
	分団数	235	
	消防団員	非常勤団員数	5,781 人
		常勤団員数	—
合計	5,781 人		

消 防 車 両 等	区 分		消防本部・署所	消 防 団	
	普通消防ポンプ自動車			54 台	139 台
水槽付消防ポンプ自動車			22 台	—	
はしご付消防ポンプ自動車			13 台	—	
屈折はしご付消防ポンプ自動車			1 台	—	
大型高所放水車			2 台	—	
泡原液搬送車			2 台	—	
化学消防自動車			17 台	—	
指揮車			20 台	—	
小型動力ポンプ付積載車			—	206 台	
小型動力ポンプ(車両に積載していないもの)			26 台	103 台	
広報車			31 台	—	
資機材搬送車			26 台	—	
屈折放水塔車			0 台	—	
救急自動車			55 台	—	
救助工作車			15 台	—	
その他の車両			11 台	—	
消 防 水 利	消火栓	公 設		18,167 個	
		私 設		98 個	
	防火水槽	100m ³ 以上		136 基	
		60m ³ 以上 100m ³ 未満		133 基	
		40m ³ 以上 60m ³ 未満		4,785 基	
		20m ³ 以上 40m ³ 未満		501 基	
	井戸	公 設		79 個	
私 設		—			
そ の 他				580 個	
通 信 施 設 等	消防用無線		基地局および固定局		80 局
			移動局		993 局
	防災行政無線	市町	同報無線	同報親局	26 局
				同報受信設備	26,776 局
			移動無線	基地局	24 局
				移動局	922 局
		県	固定系	地上系	29 局
				衛星系	71 局
		移動系	基地局等	19 局	
			移動局等	222 局	
	テレビ監視装置				2 基
火災報知専用電話				115 回線	
消防電話				125 回線	

第2章 火災の実態

1 概況

平成27年中の火災発生件数は185件、死者9人、負傷者22人、損害額5億61万円、焼損棟数162棟、り災世帯数82世帯、り災人員201人となっており、一日当たりの損害状況は第1表のとおりで、概ね毎日137万円が灰じんに帰していることになる。

火災発生件数、損害額および死傷者数の過去10年間の推移は、第1図、第2図のとおりであり、火災発生件数においては、平成19年中が最も多く、平成27年中が最も少ない。

2 出火件数および損害額の状況

(1) 出火件数

総出火件数は185件で、これを火災種別ごとにみると、第3図のように建物火災が106件で全体の57.3%を占め、車両火災31件(16.8%)、林野火災3件(1.6%)、船舶火災1件(0.5%)、その他火災44件(23.8%)となっている。

また、建物火災だけでみると、第4図のように一般住宅が43件(40.6%)で最も多く、次いで工場16件(15.1%)、飲食店6件(5.7%)、事務所5件(4.7%)、共用住宅4件(3.8%)、併用住宅3件(2.8%)、その他29件(27.4%)となっている。

第3表の月別火災発生状況表を見ると、3月の発生件数が28件で最も多く、9月が8件と最も少ない。

第4表では、市町別の火災発生状況を示している。

(2) 損害額

損害額は、5億61万円で、これを火災種別ごとにみると、第5図のように建物火災が4億8,536万円で全体の96.95%を占め、次いで車両火災796万円(1.59%)となっている。火災1件当たりの損害額は約271万円となる。

第3表の月別火災発生状況表をみると、3月の損害額が約1億2,085万円で最も多く、6月が約80万円で最も少ない。

3 出火原因

全火災の出火原因別状況を表したのが第6図であり、出火原因別損害状況を表したのが第6表である。

第6図をみると、出火原因ではたき火が最も多く15件で8.1%を占め、次いで、たばこ12件(6.5%)、放火11件(5.9%)、ストーブ火9件(4.9%)、排気管9件(4.9%)、電気機器9件(4.9%)などとなっている。

4 火災による死者の状況

死者の死因別発生状況を表したのが第7表であり、死者の経過別、年齢別発生状況を表したのが第8表である。

第7表をみると、死因では、一酸化炭素中毒が1人、火傷が2人、自殺が2人、その他2人、不明2人となっている。

また、平成27年中の死者に占める高齢者は7人で全体の約78%となった。

第1表 1日当たりの損害状況

区 分	単位	平成27年 (A)	平成26年 (B)	対前年増加数 (A) - (B)
出 火 件 数	件	0. 51	0. 58	△0. 07
損 害 額	万円	137	99	38
焼 損 棟 数	棟	0. 44	0. 54	△0. 10
り 災 世 帯 数	世帯	0. 22	0. 28	△0. 06
り 災 人 員	人	0. 55	0. 80	△0. 25

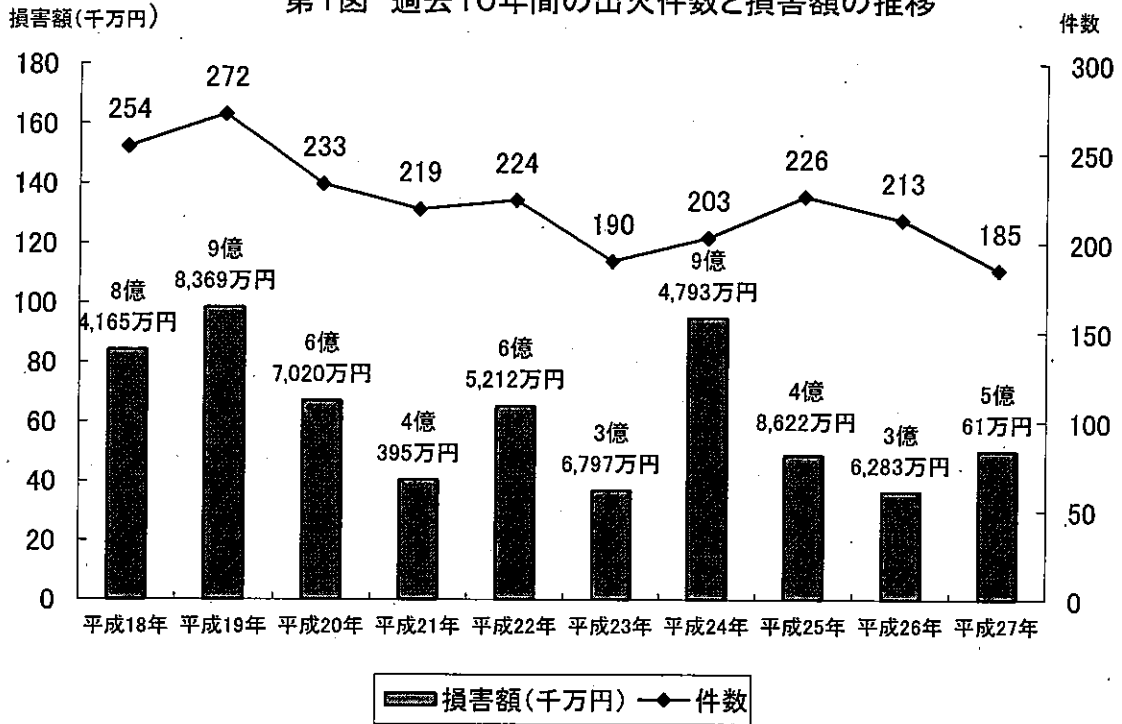
第2表 平成27年火災発生状況と前年比較表

区 分	平成27年(A)	平成26年(B)	対前年増加数 (A) - (B) = (C)
総 出 火 件 数	185	213	△ 28
建 物	106	139	△ 33
林 野	3	3	0
車 両	31	27	4
船 舶	1	1	0
そ の 他	44	43	1
焼 損 棟 数 (棟)	162	196	△ 34
全 焼	35	39	△ 4
半 焼	8	15	△ 7
部 分 焼	57	59	△ 2
ぼ や	62	83	△ 21
り 災 世 帯 数 (世帯)	82	101	△ 19
全 損	24	24	0
半 損	5	4	1
小 損	53	73	△ 20
り 災 人 員 (人)	201	291	△ 90
建 物 焼 損 面 積 (㎡)	9,345	6,066	3,279
林 野 焼 損 面 積 (a)	13	30	△ 17
損 害 額 合 計 (千円)	500,611	362,832	137,779
建 物	485,363	343,458	141,905
林 野	56	54	2
車 両	7,963	13,721	△ 5,758
船 舶	4	120	△ 116
そ の 他	7,225	2,609	4,616
爆 発	0	2,870	△ 2,870
死 者 (人)	9	8	1
() は 放 火 自 殺 者 内 数	(2)	(1)	1
建 物	5	6 (0)	△ 1 0
林 野	0	0	0
車 両	3 (1)	1 (0)	2 1
船 舶	0	0	0
そ の 他	1 (1)	1 (1)	0 (1)
負 傷 者 (人)	22	40	△ 18
建 物	21	35	△ 14
林 野	0	0	0
車 両	0	3	△ 3
船 舶	0	0	0
そ の 他	1	2	△ 1
出 火 率 (人口1万人に対する出火件数)	2.31	2.65	

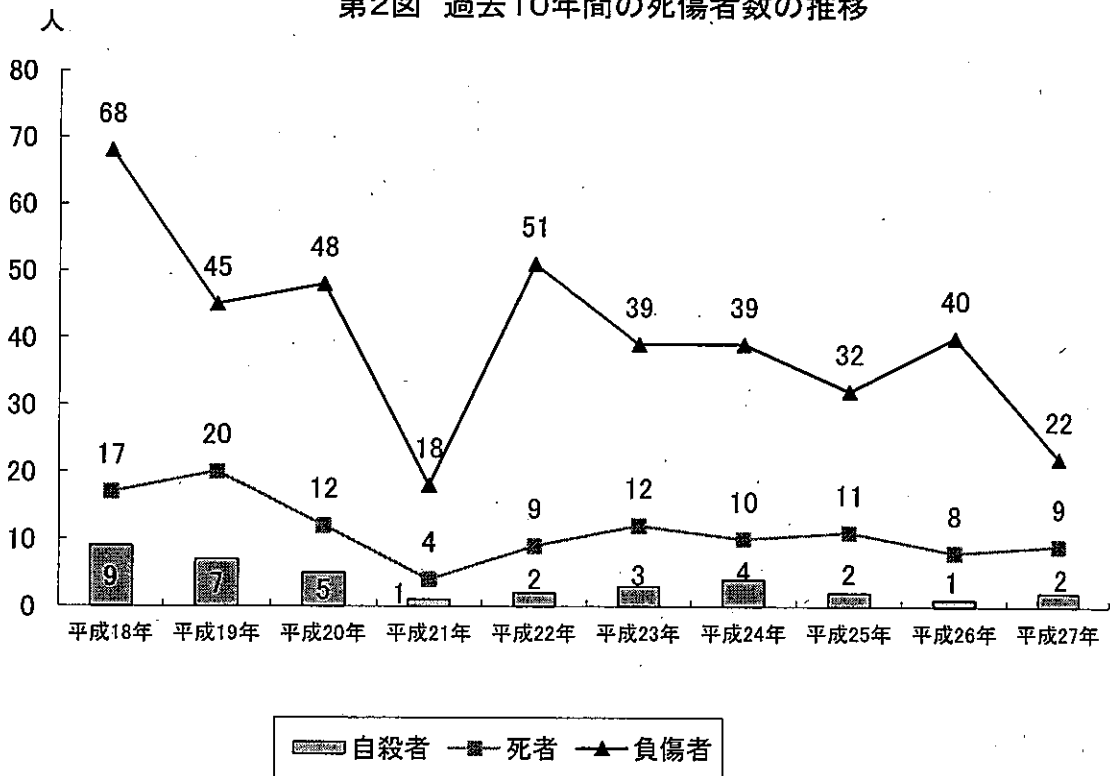
平成27年人口:平成27年3月31日現在の住民基本台帳人口による。

平成26年人口:平成26年3月31日現在の住民基本台帳人口による。

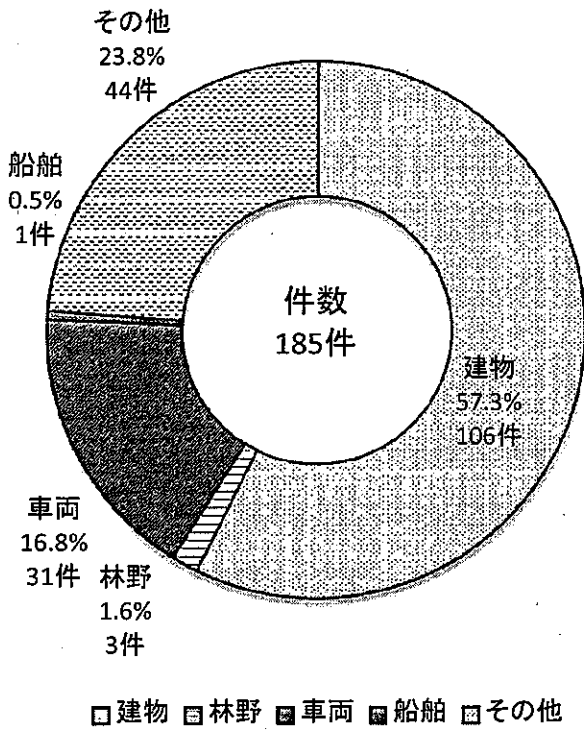
第1図 過去10年間の出火件数と損害額の推移



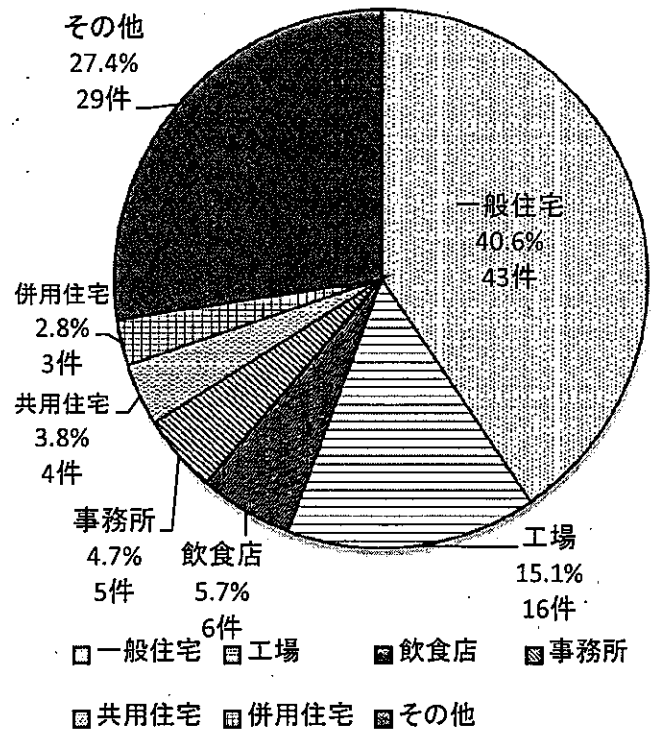
第2図 過去10年間の死傷者数の推移



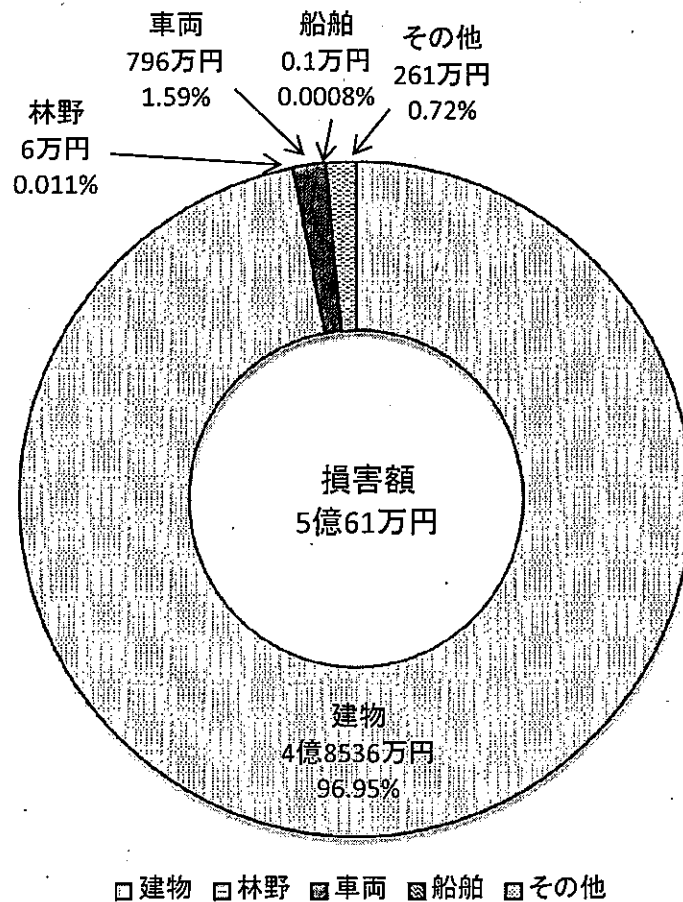
第3図 火災発生件数の内訳



第4図 うち建物火災件数の内訳



第5図 損害額の内訳



第3表 平成27年月別火災発生状況表

月	出火件数(件)						焼損棟数(棟)				焼損面積			り災世帯数(世帯)			り災人員(人)	死(人)	負傷者(人)	損害額(千円)							
	合計	建物	林野	車両	船舶	その他	合計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	建物(m ²)	林野(a)	合計	全	半				小	合計	建物	林野	車両	船舶	その他	爆発
1	12	9	0	1	1	1	9	1	0	2	6	468	0	8	1	0	7	18	0	3	33,745	33,732	0	0	4	9	0
2	14	12	0	1	0	1	21	6	1	7	1,072	0	10	4	0	6	29	1	4	89,038	88,934	0	104	0	0	0	0
3	28	14	0	6	0	8	32	8	0	11	3,375	0	21	5	0	16	56	1	5	120,847	118,472	0	2,317	0	58	0	0
4	21	11	1	2	0	7	24	10	0	7	1,737	4	12	6	3	3	29	1	1	103,006	102,616	46	162	0	182	0	0
5	23	8	1	4	0	10	10	0	1	5	70	9	9	2	0	2	6	0	0	17,000	16,202	0	752	0	46	0	0
6	10	4	0	3	0	3	4	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	1	795	237	0	557	0	1	0	0
7	20	11	0	6	0	3	13	2	1	4	903	0	4	4	1	0	3	5	4	30,133	27,076	0	2,024	0	1,033	0	0
8	10	6	0	1	0	3	6	1	0	3	227	0	3	0	0	3	9	0	0	21,748	21,113	0	550	0	85	0	0
9	8	4	0	4	0	0	4	0	1	2	50	0	1	0	1	0	2	2	0	7,394	800	0	1,094	0	5,500	0	0
10	17	12	1	2	0	2	14	3	2	3	546	0	7	2	1	4	15	1	2	24,974	24,580	10	381	0	3	0	0
11	9	5	0	1	0	3	7	2	0	4	557	0	2	1	0	1	5	0	1	19,640	19,403	0	22	0	215	0	0
12	13	10	0	0	0	3	18	2	2	9	340	0	12	4	0	8	27	1	1	32,291	32,198	0	0	0	93	0	0
計	185	106	3	31	1	44	162	35	8	57	9,345	13	82	24	5	53	201	9	22	500,611	485,363	56	7,963	4	7,225	0	0

第4表 市町別火災状況

区分	出火件数(件)							焼損棟数(棟)					り災世帯数(世帯)			り災人員(人)	
	計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	計	全損	半損		小損
福井市	53	36	2	7	0	0	8	50	7	0	20	23	34	9	3	22	79
敦賀市	12	7	0	2	1	0	2	7	0	0	2	5	4	0	0	4	8
小浜市	8	2	0	3	0	0	3	2	0	0	2	0	1	0	0	1	1
大野市	7	4	0	2	0	0	1	4	2	0	1	1	1	1	0	0	2
勝山市	11	7	0	3	0	0	1	10	6	0	0	4	4	3	0	1	8
鯖江市	18	13	0	3	0	0	2	19	4	1	11	3	8	3	1	4	31
あわら市	9	1	0	1	0	0	7	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
越前市	15	9	0	1	0	0	5	25	6	2	7	10	12	2	1	9	23
坂井市	15	9	0	2	0	0	4	20	7	0	4	9	10	4	0	6	29
市計	148	88	2	24	1	0	33	138	32	4	47	55	74	22	5	47	181
永平寺町	7	3	0	2	0	0	2	8	0	3	4	1	0	0	0	0	0
池田町	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南越前町	6	2	0	3	0	0	1	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0
越前町	7	5	0	0	0	0	2	5	1	0	2	2	1	1	0	0	6
美浜町	3	1	0	0	0	0	2	1	0	0	0	1	1	0	0	1	5
高浜町	7	4	0	1	0	0	2	6	1	0	4	1	5	1	0	4	8
おおい町	3	1	0	1	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0
若狭町	2	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	1	0	0	1	1
(内訳)																	
旧三方町 敦賀美方消防管轄	2	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	1	0	0	1	1
旧上中町 若狭消防管轄	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
町計	37	18	1	7	0	0	11	24	3	4	10	7	8	2	0	6	20
県計	185	106	3	31	1	0	44	162	35	8	57	62	82	24	5	53	201

若狭町は、旧三方町と旧若狭町では消防の管轄が異なるため、内訳を記載した。

期間:平成27年1月1日～12月31日

死傷者数(人)		焼 損 面 積			損 害 額(千円)						
死 者	負 傷 者	建 物 床 (m ²)	建 物 表 (m ²)	林 野 (a)	合 計	建 物	林 野	車 両	船 舶	そ の 他	爆 発
2	8	1,547	329	9	137,302	135,488	10	1,748	0	56	0
0	1	182	2	0	31,320	31,251	0	65	4	0	0
0	0	46	15	0	649	581	0	65	0	3	0
0	2	338	15	0	12,844	11,944	0	900	0	0	0
2	1	927	0	0	23,854	23,536	0	318	0	0	0
1	2	614	95	0	47,636	40,499	0	1,602	0	5,535	0
0	0	33	0	0	1,847	1,632	0	147	0	68	0
0	3	3,025	157	0	95,865	95,439	0	395	0	31	0
1	0	1,209	99	0	82,567	81,482	0	991	0	94	0
6	17	7,921	712	9	433,884	421,852	10	6,231	4	5,787	0
0	0	320	60	0	26,089	25,709	0	380	0	0	0
0	1	0	0	4	46	0	46	0	0	0	0
2	1	290	0	0	9,769	7,934	0	798	0	1,037	0
1	0	268	5	0	13,801	13,801	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	114	0	0	0	0	114	0
0	2	545	25	0	16,201	15,900	0	104	0	197	0
0	0	0	0	0	697	157	0	450	0	90	0
0	1	1	0	0	10	10	0	0	0	0	0
0	1	1	0	0	10	10	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	5	1,424	90	4	66,727	63,511	46	1,732	0	1,438	0
9	22	9,345	802	13	500,611	485,363	56	7,963	4	7,225	0

第5表 市町別月別火災発生件数、損害額および出火率

区 分	総計		1月		2月		3月		4月		5月		6月	
	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)
福井市	53	137,302	5	29	7	25,236	9	2,044	8	65,292	4	53	2	1
敦賀市	12	31,320	3	29,189	0	0	0	0	1	0	0	0	2	10
小浜市	8	649	0	0	0	0	3	581	0	0	2	41	1	5
大野市	7	12,844	1	496	1	5,045	1	703	0	0	0	0	0	0
勝山市	11	23,854	2	4,027	2	5,182	0	0	2	14,324	1	0	0	0
鯖江市	18	47,636	0	0	1	27,216	2	318	0	0	1	62	2	322
あわら市	9	1,847	0	0	0	0	2	0	2	68	3	0	0	0
越前市	15	95,865	0	0	0	0	3	64,093	2	18,597	4	1,418	0	0
坂井市	15	82,567	1	4	1	1,781	1	39,862	2	4,565	3	15,169	1	0
市 計	148	433,884	12	33,745	12	64,460	21	107,601	17	102,846	18	16,743	8	338
永平寺町	7	26,089	0	0	1	24,474	1	80	0	0	1	6	1	300
池田町	2	46	0	0	0	0	0	0	1	46	0	0	0	0
南越前町	6	9,769	0	0	0	0	1	258	0	0	2	251	0	0
越前町	7	13,801	0	0	0	0	2	12,886	0	0	1	0	0	0
美浜町	3	114	0	0	0	0	0	0	2	114	1	0	0	0
高浜町	7	16,201	0	0	1	104	1	12	1	0	0	0	0	0
おおい町	3	697	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	157
若狭町 (内訳)	2	10	0	0	0	0	2	10	0	0	0	0	0	0
旧三方町 敦賀南方消防管轄	2	10	0	0	0	0	2	10	0	0	0	0	0	0
旧上中町 若狭消防管轄	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
町 計	37	66,727	0	0	2	24,578	7	13,246	4	160	5	257	2	457
県 計	185	500,611	12	33,745	14	89,038	28	120,847	21	103,006	23	17,000	10	795

若狭町は、旧三方町と旧若狭町では消防の管轄が異なるため、内訳を記載した。

出火率(人口1万人に対する出火件数)は、平成27年3月31日現在の住民基本台帳人口により算定

期間:平成27年1月1日~12月31日

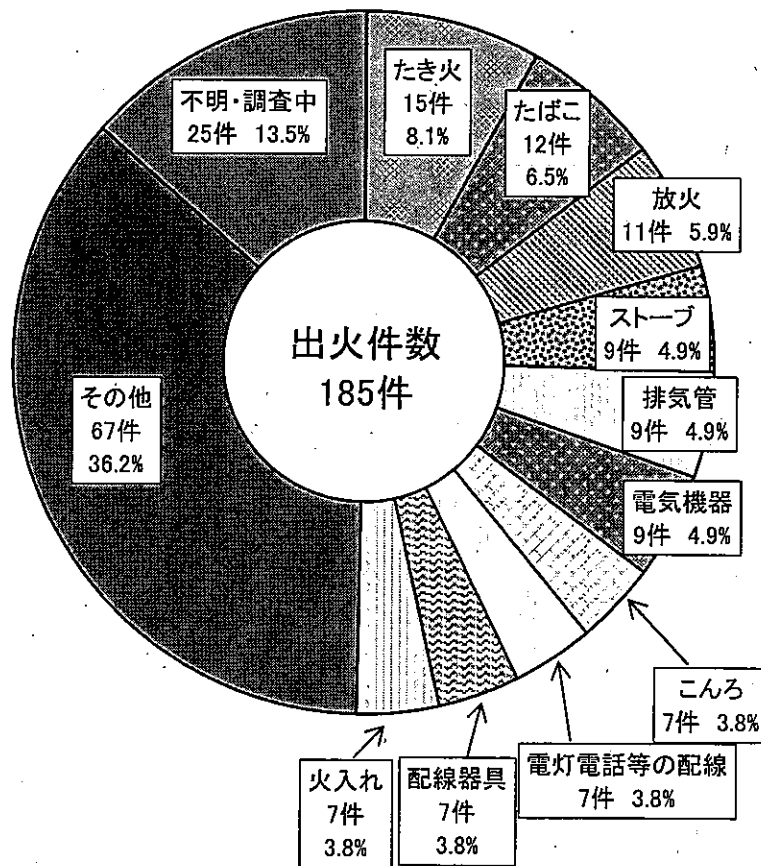
7月		8月		9月		10月		11月		12月		出火率 (人口 1万人に 対する 出火件数)
件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	
5	3,736	2	704	2	7	2	11	1	11,059	6	29,130	1.99
2	69	1	0	0	0	1	2,049	0	0	2	3	1.78
0	0	1	0	0	0	0	0	1	22	0	0	2.63
0	0	0	0	0	0	2	300	2	6,300	0	0	2.00
1	97	0	0	1	140	2	84	0	0	0	0	4.44
2	54	2	752	3	6,688	4	11,689	0	0	1	535	2.62
0	0	0	0	1	147	1	1,632	0	0	0	0	3.07
0	0	0	0	0	0	3	9,206	1	18	2	2,533	1.79
2	918	3	20,265	0	0	1	3	0	0	0	0	1.61
12	4,874	9	21,721	7	6,982	16	24,974	5	17,399	11	32,201	2.12
0	0	0	0	0	0	0	0	2	1,229	1	0	3.63
0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	7.01
3	9,260	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5.34
3	503	0	0	1	412	0	0	0	0	0	0	3.07
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2.98
1	15,046	1	27	0	0	0	0	2	1,012	0	0	6.50
1	450	0	0	0	0	0	0	0	0	1	90	3.50
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1.27
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
8	25,259	1	27	1	412	1	0	4	2,241	2	90	3.65
20	30,133	10	21,748	8	7,394	17	24,974	9	19,640	13	32,291	2.31

第6表 全火災の出火原因別損害状況表

期間:平成27年1月1日～12月31日

出火原因	出火件数(件)	焼損床面積(m ²)	焼損棟数(棟)	り災世帯数(世帯)	損害額(千円)
たき火	15	2,215	16	7	64,420
たばこ	12	428	15	10	15,191
放火	11	315	9	6	9,249
ストーブ	9	1,516	22	16	140,560
排気管	9	11	0	0	2,529
電気機器	9	12	7	1	16,978
こんろ	7	39	7	6	954
電灯電話等の配線	7	90	4	0	4,487
配線器具	7	840	13	8	31,333
火入れ	7	0	0	0	10
その他	67	1,780	44	13	81,357
不明・調査中	25	2,099	25	15	133,543
合計	185	9,345	162	82	500,611

第6図 全火災の出火原因別状況



第7表 死者の死因別発生状況表

火災種別 \ 死因	一酸化炭素 中毒・窒息	火傷	打撲・骨折 等	自殺	その他	不明	合計(人)
建 物 火 災	1	0	0	0	2	2	5
林 野 火 災	0	0	0	0	0	0	0
車 両 火 災	0	2	0	1	0	0	3
そ の 他 火 災	0	0	0	1	0	0	1
合 計 (人)	1	2	0	2	2	2	9

第8表 死者の経過別・年齢別発生状況表

経過別 \ 年齢別(歳)	年齢別(歳)												合計 (人)	
	0~ 5	6~ 10	11 ~ 20	21 ~ 30	31 ~ 40	41 ~ 50	51 ~ 60	61 ~ 64	65 ~ 70	71 ~ 80	81~	不明		
判断力・体力的条件のため				1	1									2
身体不自由のため逃げ切れず									1					1
延焼拡大が早く逃げ切れず										1				1
着衣着火									1					1
放火自殺									2					2
不明・調査中										1	1			2
合計(人)	0	0	0	1	1	0	0	0	4	2	1	0		9

第3章 救急業務の実態

1 救急体制

災害により生じた事故もしくは屋外および公衆の出入りする場所、または屋内において生じた事故で、迅速に搬送する手段がない場合に傷病者を医療機関等へ搬送する業務が救急業務であるが、平成28年4月1日現在、第1表のとおり、救急自動車55台(うち高規格救急自動車54台)、救急隊員543(うち救急救命士198名)で救急業務にあたっている。

2 救急医療体制

救急隊が搬送する傷病者を受け入れる救急告示医療機関数は、平成28年4月1日現在、第2表のとおり54施設である。

3 救急活動状況

救急活動状況を表したのが第3表であり、救急出場件数は27,759件、搬送人員は26,723人となっている。県内1日あたりの出場件数は約76件となり、約20分に1回の割合で救急隊が出場したことになる。

過去10年間の出場件数および搬送人員の推移を表したのが第1図であり、出場件数、搬送人員ともにほぼ毎年増加している。

出場件数、搬送人員の事故種別内訳を表したのが第2図、第3図であり、出場件数の事故種別内訳では、急病が16,936件で、全体の61.0%を占め、次いで一般負傷4,001件(14.4%)、交通事故2,751件(9.9%)などとなっている。搬送人員では急病が15,997人で全体の59.9%を占め、次いで一般負傷3,829人(14.3%)、交通事故3,152人(11.8%)などとなっている。

第1表 救急体制状況表

平成28年4月1日現在

消防(局)本部名	救急自動車			救急隊員					
	高規格救急車	通常型	合計	専任		兼任		合計	
				救急救命士		救急救命士		救急救命士	
福井市	11	0	11	53	29	27	9	80	38
大野市	4	0	4			44	12	44	12
勝山市	3	0	3			26	8	26	8
永平寺町	3	0	3			32	10	32	10
嶺北消防組合	8	0	8			77	29	77	29
鯖江・丹生消防組合	6	0	6			106	27	106	27
南越消防組合	7	1	8			75	24	75	24
敦賀美方消防組合	6	0	6	29	16	12	9	41	25
若狭消防組合	6	0	6	7	5	55	20	62	25
合計	54	1	55	89	50	454	148	543	198

第2表 医療機関状況表

平成28年4月1日現在

種別	国・公立	公的	私的		合計
			病院	診療所	
告示別					
救急告示医療機関	7	5	26	16	54
その他の医療機関	15	7	30	447	499
合計	22	12	56	463	553

第3表 救急活動状況

(平成27年中)

	合計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自行損傷	急病	その他
救急出場件数	27,759	64	2	58	2,751	246	212	4,001	84	203	16,936	3,202
搬送人員	26,723	18	3	38	3,152	244	216	3,829	76	135	15,997	3,015

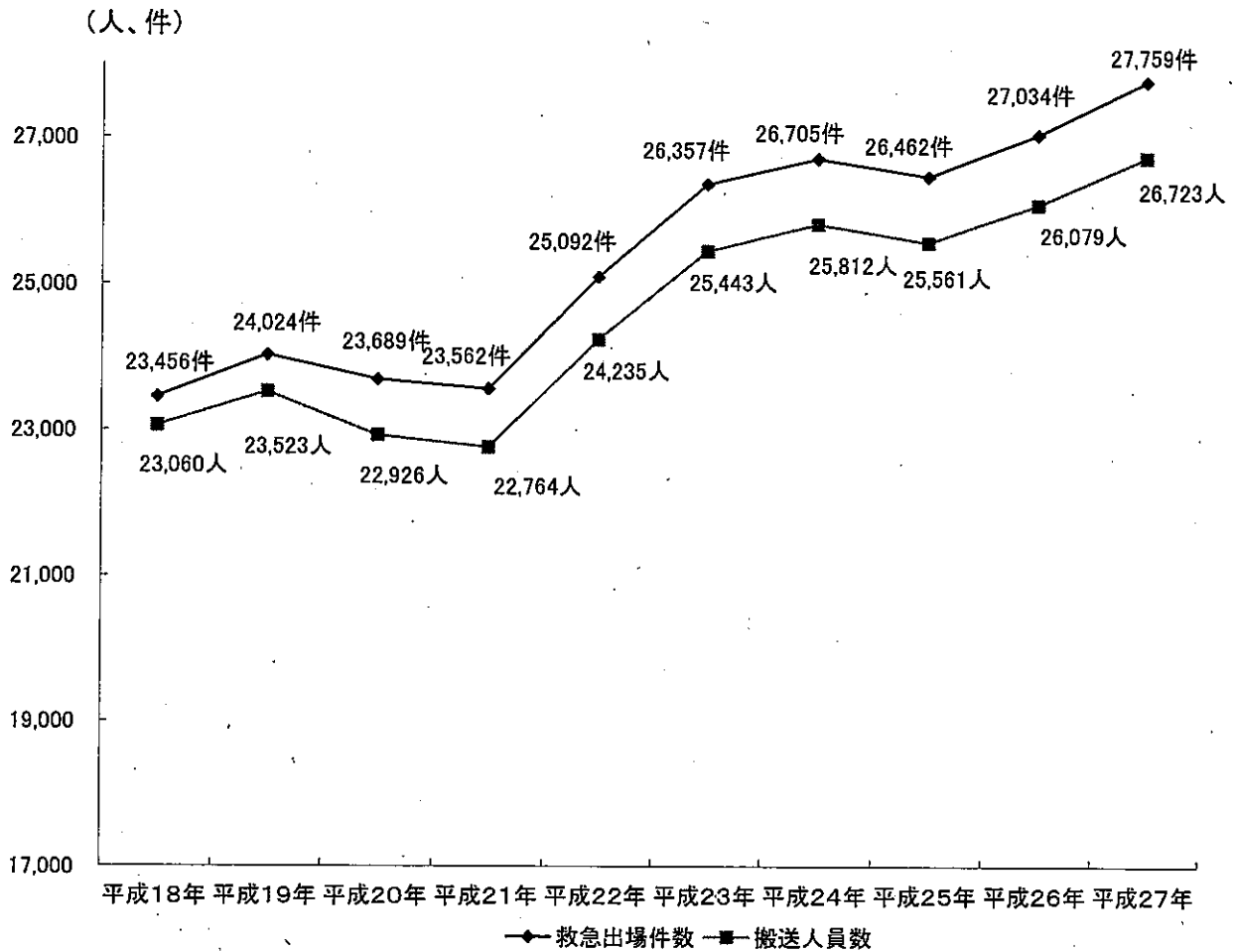
第4表 高速自動車道における救急活動状況表

(平成27年中)

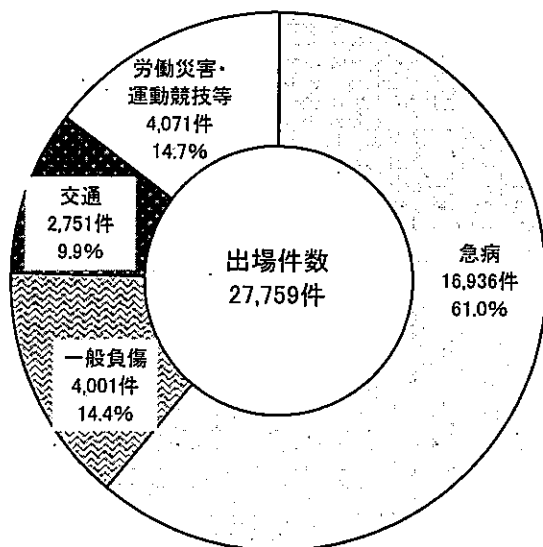
高速道路名	北陸自動車道								小計	
担当消防本部名	嶺北消防組合消防本部		福井市消防局		鯖江・丹生消防組合消防本部		南越消防組合消防本部			敦賀美方消防組合消防本部
IC名	金津	丸岡	福井北	福井	鯖江	武生	今庄	敦賀		
救急出動数	13	9	6	3	11	10	20	24		96
搬送人員	14	7	8	4	10	13	23	20		99

高速道路名	舞鶴若狭自動車道							小計	計
担当消防本部名	敦賀美方消防組合消防本部			若狭消防組合消防本部					
IC名	若狭美浜	若狭三方	若狭上中	大飯高浜	小浜西	小浜	若狭上中		
救急出動数	5	1	0	2	4	1	0	13	109
搬送人員	5	1	0	2	4	1	0	13	112

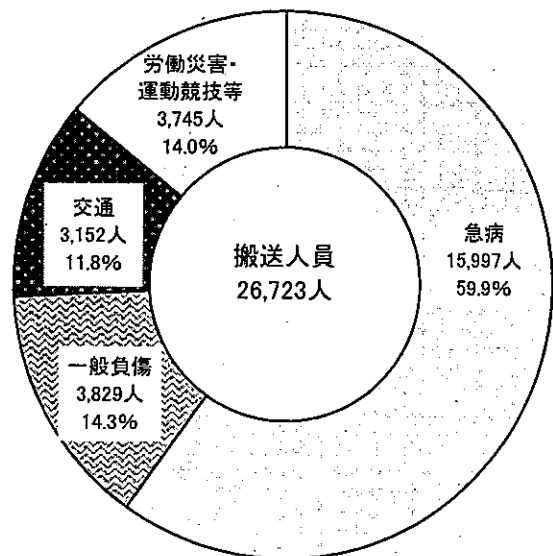
第1図 過去10年間の救急活動の推移



第2図 出場件数の事故種別内訳



第3図 搬送人員の事故種別内訳



第4章 予 防 行 政 の 概 況

1 防火対象物定期点検報告制度

不特定多数の人が出入りするなど一定の防火対象物について、所有者や賃借人等のうち管理について権原を有する人が、火災予防のために資格者による定期点検を行い、その結果を消防機関へ報告する制度である。

この制度による平成27年4月1日から平成28年3月31日までの状況は第1表のとおりである。

第1表 防火対象物定期点検報告制度実施状況表

防火対象物の区分			点検を要する 防火対象物数		点検報告済 防火対象物数		特例認定済 防火対象物数	
			第1号該当	第2号該当	第1号該当	第2号該当	第1号該当	第2号該当
1	イ	劇場、映画館、演芸場または観覧場	30		11		11	
	ロ	公会堂または集会場	222		126	1	65	
2	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブその他これらに類するもの						
	ロ	遊技場またはダンスホール	59		31		6	
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等						
	ニ	カラオケボックス等	3		2			
3	イ	待合、料理店その他これらに類するもの	1	10	1	3		
	ロ	飲食店	10	43	6	12	1	
4		百貨店、マーケットその他の物品販売業を営む店舗または展示場	181	20	112	5	17	1
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所その他これらに類するもの	39	85	17	27	9	27
6	イ	病院、診療所または助産所	36	6	19	1	12	4
	ロ	老人短期入所施設、養護老人ホーム、精神障害者社会復帰施設等	6	3	1	2	4	
	ハ	老人デイサービスセンター、老人福祉センター、精神障害者社会復帰施設（軽微）等	1	2		1	1	
	ニ	幼稚園または特別支援学校	1		1			
9	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場その他これらに類する公衆浴場	3		1		2	
16	イ	複合用途防火対象物のうち、その一部が上記に該当する用途に供されているもの	204	44	96	12	41	3
16の2		地下街						
合 計			796	213	424	64	169	35

【備考】

- ・点検報告済防火対象物とは、1年に1回、防火対象物点検資格者による点検報告が必要なもので、点検の結果、点検基準に適合していると認められた防火対象物。「防火基準点検済証」を表示することができる。
- ・特例認定済防火対象物とは、一定の要件を満たしているもので、申請によって点検報告の義務が3年間免除される防火対象物。「防火優良認定証」を表示することができる。
- ・第1号該当とは、収容人員が300人以上の防火対象物
- ・第2号該当とは、収容人員が30人以上300人未満の防火対象物で次の要件に該当する防火対象物
 - 特定用途部分が地階または3階以上に存するもの（避難階は除く）
 - 階段が2以上設けられていないもの
- ・調査基準日…平成28年3月31日
- ・調査期間……平成27年4月1日～平成28年3月31日

2 消防設備士試験・講習の状況

消防設備士は、甲種・乙種合わせて832人の受験者に対して333人が合格し、合格率は40.0%であった。その状況は第2表のとおりである。

また、免状所有者に対する義務講習は678人が受講した。その状況は第3表のとおりである。

第2表 消防設備士試験実施状況表

試験日：平成27年8月23日（日）

平成28年2月14日（日）

区 分	平成27年度								免状交付延べ数	
	受験者数（人）		合格人数（人）		合格率（%）		免状交付数			
	甲種	乙種	甲種	乙種	甲種	乙種	甲種	乙種	甲種	乙種
特 類	12		2		16.7%		2		18	
第 1 類	84	26	23	9	27.4%	34.6%	18	11	1,191	317
第 2 類	30	1	5	0	16.7%	0.0%	4	0	335	92
第 3 類	44	4	13	0	29.5%	0.0%	14	0	249	60
第 4 類	165	122	52	53	31.5%	43.4%	54	55	2,660	1036
第 5 類	37	7	13	1	35.1%	14.3%	11	3	280	106
第 6 類		145		61		42.1%		62		2,014
第 7 類		155		101		65.2%		142		3,032
計	372	460	108	225	29.0%	48.9%	103	273	4,733	6,657

第3表 消防設備士法定講習実施状況表

区 分	受 講 対 象 者 区 分	受講者数（人）	実 施 年 月 日
消 火 設 備	(甲・乙)第1類,第2類,第3類 消防設備士	141	平成27年8月25日（火）
避難設備・消火器	(甲・乙)第5類,(乙)第6類 消防設備士	146	平成27年8月26日（水）
警 報 設 備	(甲・乙)第4類,(乙)第7類 消防設備士	391	平成27年9月1日（火） 平成27年9月2日（水） 平成28年1月26日（火）
合 計		678	

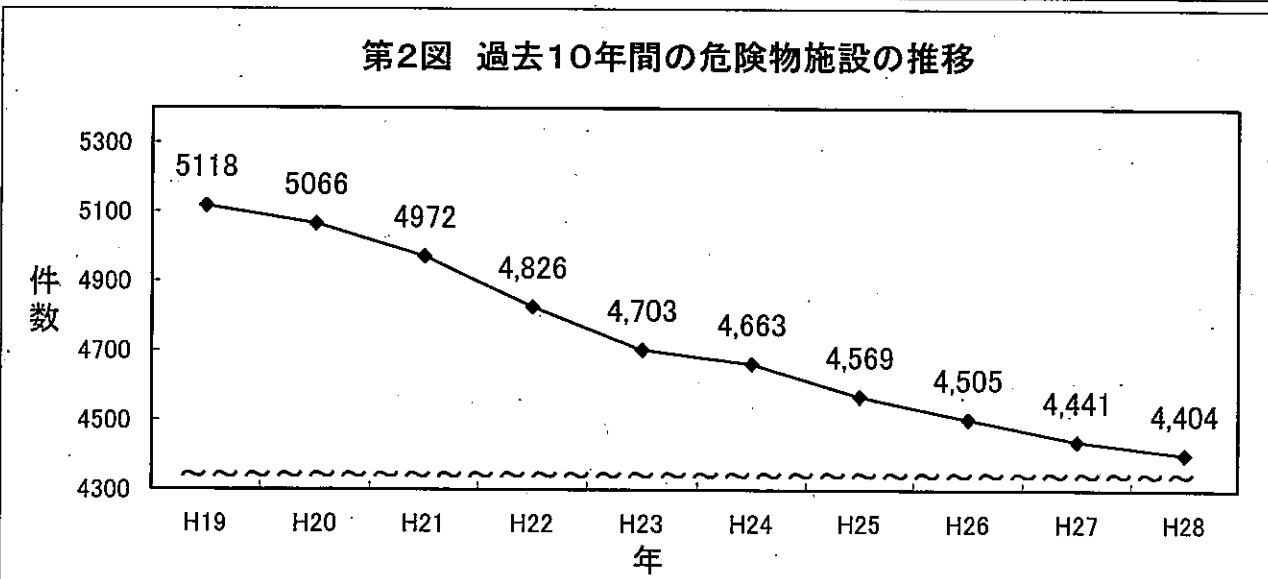
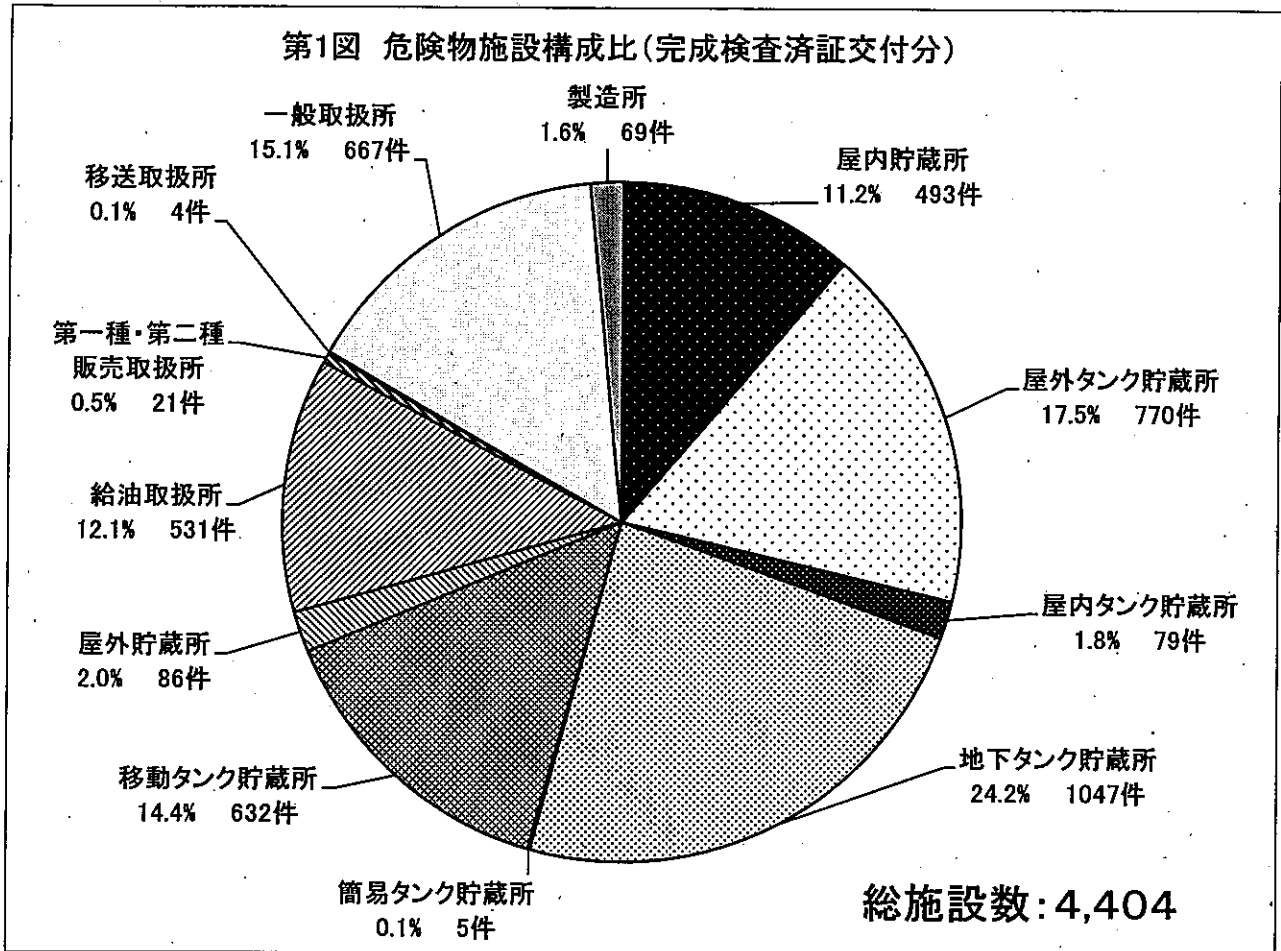
第5章 危険物規制

1 概況

(1) 危険物規制は、福井市、大野市、勝山市および永平寺町においては当該市町が、またその他の市町においてはそれぞれの加入する消防組合において行なわれている。

なお、県内の総施設数は第1図のとおりである。(平成28年3月31日現在)

(2) 危険物の総施設数の推移は第2図のとおり減少傾向であり、前年に対し37件減少している。



第1表 施設別危険物施設数

平成28年3月31日現在

危険物施設の別 消防(局)本部名	製造所 (A)	貯蔵所									取扱所					合計 (A+B+C)	事業所		
		屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所		屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計 (B)	給油取扱所	第一種販売取扱所	第二種販売取扱所	移送取扱所	一般取扱所			小計 (C)	
			準特定屋外タンク貯蔵所	特定屋外タンク貯蔵所															
福井市	20	114	191	5	20	28	273	1	186	19	812	136	11	1	1	141	290	1,122	564
大野市		8	18				56		34		116	24				27	51	167	94
勝山市	2	6	31			1	50		20	3	111	17				21	38	151	85
永平寺町		8	5			2	23		16		54	7				11	18	72	44
嶺北消防組合	26	102	179	4	36	11	190	1	126	20	629	92			2	179	273	928	334
鯖江・丹生消防組合	5	63	75			7	120		47	9	321	46	4	4		56	110	436	293
南越消防組合	13	73	113			11	129	2	70	16	414	66				76	142	569	266
敦賀美方消防組合	1	69	107	7	8	13	126		76	16	407	92			1	96	189	597	227
若狭消防組合	2	50	51			6	80		57	3	248	51	1			60	112	362	157
合計	69	493	770	16	64	79	1,047	5	632	86	3,112	531	16	5	4	667	1,223	4,404	2,064

- 注：1 貯蔵所および取扱所の区分は危険物の規制に関する政令の区分による（以下の表においても同様）。
 2 本表には、設置を許可した施設のうち、完成検査済証を交付した施設数から廃止届を受理した施設数を除いた数を記載（以下の表においても同様）。
 3 準特定屋外タンク貯蔵所には、屋外タンク貯蔵所のうち、貯蔵し、または取り扱う液体の危険物の最大数量が五百キロリットル以上千キロリットル未満のものを記載（以下の表においても同様）。
 4 特定屋外タンク貯蔵所数は、屋外タンク貯蔵所のうち、貯蔵し、または取り扱う液体の危険物の最大数量が千キロリットル以上のものを記載（以下の表においても同様）。
 5 事業所数は、危険物施設を有する事業所の数を記載。

第2表 指定数量別・類別危険物施設数

平成28年3月31日現在

危険物施設の別 数量別・類別	製 造 所 (A)	貯 蔵 所									取 扱 所					合 計 (A+B+C)			
		屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	準 特 定 屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	特 定 屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	小 計 (B)	給 油 取 扱 所	第 一 種 販 売 取 扱 所	第 二 種 販 売 取 扱 所	移 送 取 扱 所		一 般 取 扱 所	小 計 (C)	
5倍以下	5	217	140			56	580	5	469	24	1,491	41	12			299	352	1,848	
5倍を超えて10倍以下	5	119	121			18	242		14	33	547	56	2			155	213	765	
10 " 50 "	30	92	259			5	169		28	25	578	134	2	5		131	272	880	
50 " 100 "	12	21	79				33		108	3	244	75				34	109	365	
100 " 150 "	4	24	41				14		12		91	55				16	71	166	
150 " 200 "		9	8	1			3			1	21	65				10	75	96	
200 " 1,000 "	13	9	57	11	3		6		1		73	105				15	120	206	
1,000 " 5,000 "		2	23	4	19						25					3	3	28	
5,000 " 10,000 "			3		3						3					2	2	5	
10,000倍を超えるもの			39		39						39				4	2	6	45	
合 計	69	493	770	16	64	79	1,047	5	632	86	3,112	531	16	5	4	667	1,223	4,404	
単 独	第 1 類		10								10							10	
	第 2 類	1	4								4					3	3	8	
	第 3 類		2								2					5	5	7	
	第 4 類	49	433	766	16	64	79	1,047	5	632	85	3,047	531	16	5	4	637	1,193	4,289
	第 5 類		19	2							21								21
	第 6 類			2								2							2
混 在	19	25								1	26					22	22	67	
合 計	69	493	770	16	64	79	1,047	5	632	86	3,112	531	16	5	4	667	1,223	4,404	

注：1 数量別の欄は、危険物施設で貯蔵または取り扱う危険物の最大数量（許可数量）を指定数量の倍数によって表したものである。
 2 類別の欄の単独には、類を同じくする危険物のみを貯蔵または取り扱っている危険物施設の数を、混在には、類を異にする危険物を貯蔵または取り扱っている危険物施設の数を記載。

第3表 危険物施設に対する立入検査状況

平成27年 4月 1日から
平成28年 3月31日まで

危険物施設の別 消防(局)本部名		製 造 所 (A)	貯 蔵 所							取 扱 所					合 計 (A+B+C)		
			屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	小 計 (B)	給 油 取 扱 所	第 一 種 販 売 取 扱 所	第 二 種 販 売 取 扱 所	移 送 取 扱 所		一 般 取 扱 所	小 計 (C)
福 井 市	検査施設数	19	69	117	12	164		180	6	548	103	1		1	84	189	756
	延回数	37	74	123	16	217		201	6	637	131	1		1	109	242	916
大 野 市	検査施設数			1		7		34		42	5				2	7	49
	延回数			1		7		36		44	5				2	7	51
勝 山 市	検査施設数		2		1	22		20		45	13				3	16	61
	延回数		2		1	22		20		45	13				3	16	61
永 平 寺 町	検査施設数		6	5	2	19		12		44	8				10	18	62
	延回数		6	5	2	19		12		44	8				10	18	62
嶺北消防組合	検査施設数	26	75	158	7	136	1	124	20	521	82			2	133	217	764
	延回数	26	75	158	7	136	1	124	20	521	84			2	133	219	766
鯖江・丹生消防組合	検査施設数	5	34	48	2	40		45	7	176	10		2		33	45	226
	延回数	5	34	48	2	40		45	7	176	10		2		33	45	226
南越消防組合	検査施設数	7	7	10		47		85	4	153	11				19	30	190
	延回数	14	7	18		47		85	4	161	26				47	73	248
敦賀美方消防組合	検査施設数		9	44	4	56		70	4	187	39				33	72	259
	延回数		9	44	4	56		70	4	187	39				33	72	259
若狭消防組合	検査施設数	1	14	25	5	25		24	2	95	20				35	55	151
	延回数	1	15	25	5	28		31	2	106	20				36	56	163
合 計	検査施設数	58	216	408	33	516	1	594	43	1,811	291	1	2	3	352	649	2,518
	延回数	83	222	422	37	572	1	624	43	1,921	336	1	2	3	406	748	2,752

注：1 検査施設数の欄は、立入検査を行った施設数を危険物施設の区分ごとに記載。
2 延回数の欄は、立入検査を行った延回数を危険物施設の区分ごとに記載。

第4表の1 容量別屋外タンク貯蔵所数

平成28年3月31日現在

消防(局)本部名 容量別	福	大	勝	永	嶺	鯖	南	敦	若	合
	井	野	山	平	北	江・	越	賀	狭	計
	市	市	市	町	消	丹	消	美	消	
	防	防	防	防	防	生	防	方	防	
	組	組	組	組	組	消	組	消	組	
	合	合	合	合	合	防	合	防	合	
	計	計	計	計	計	防	計	防	計	
100kl未満	148	18	30	5	121	55	103	67	45	592
100kl～500kl未満	18		1		18	20	10	25	6	98
500kl～1,000kl未満	5				4			7		16
1,000kl～5,000kl未満					21			8		29
5,000kl～10,000kl未満					2					2
10,000kl～50,000kl未満										0
50,000kl～100,000kl未満					3					3
100,000kl以上	20				10					30
合計	191	18	31	5	179	75	113	107	51	770

第4表の2 品名別屋外タンク貯蔵所数

平成28年3月31日現在

品名別 容量別	第4類										第4類以外の類(B)	合計(A+B)
	原	ナ	ガ	灯	軽	重	第4	アル	そ	小		
	油	フ	ソ	油	油	油	石	コ	の	計		
	油	サ	リ	油	油	油	油	ール	他	(A)		
								類				
100kl未満				81	31	188	21	49	218	588	4	592
100kl～500kl未満				3	16	46	9		24	98		98
500kl～1,000kl未満	3		1		1	8			3	16		16
1,000kl～5,000kl未満			6	3	4	9			7	29		29
5,000kl～10,000kl未満				2						2		2
10,000kl～50,000kl未満										0		0
50,000kl～100,000kl未満						3				3		3
100,000kl以上	30									30		30
合計	33	0	7	89	52	254	30	49	252	766	4	770

第5表 危険物取扱者試験実施状況

種 別	区 分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
		合 格 率 (%)	合 格 率 (%)	合 格 率 (%)	受 験 者 数 (人)	合 格 者 数 (人)	合 格 率 (%)
甲	種	22.8	27.5	35.2	174	32	18.4
乙	第 1 類	70.9	68.0	68.1	211	132	62.6
	第 2 類	74.3	68.1	73.2	219	138	63.0
	第 3 類	68.6	66.7	65.0	229	158	69.0
	第 4 類	67.1	33.9	27.2	2,860	835	29.2
	第 5 類	67.2	63.0	70.7	235	140	59.6
	第 6 類	35.8	66.1	67.0	240	143	59.6
	小 計	49.5	45.4	42.3	3,994	1,546	38.7
丙	種	53.9	54.9	60.1	562	365	64.9
合	計	48.9	45.4	44.0	4,730	1,943	41.1

第6表 危険物取扱者保安講習実施状況

講習種別	区 分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		受 講 者 数 (人)	受 講 者 数 (人)	受 講 者 数 (人)	受 講 者 数 (人)	講 習 実 施 回 数 (回)
給 油 取 扱 所		423	414	393	481	8
石 油 コ ン ビ ナ ー ト		37	43	42	41	1
そ の 他		1,201	1,243	1,211	1,520	11
合 計		1,661	1,700	1,646	2,042	20

- 注：1 「給油取扱所」は、給油取扱所において危険物の取扱作業に従事している危険物取扱者を対象とした講習種別である。
- 2 「石油コンビナート」は、石油コンビナート等災害防止法上の特定事業所における危険物施設において危険物の取扱作業に従事する危険物取扱者を対象とした講習種別である。
- 3 「その他」は、「給油取扱所」および「石油コンビナート」以外の危険物施設において危険物の取扱作業に従事する危険物取扱者を対象とした講習種別である。

2. 危険物施設の火災・漏えい事故等

- (1) 過去5年間における危険物の災害事故発生件数は、平成24年が15件と最も多い。
 (2) 過去5年間の危険物施設別の災害事故発生件数は、一般取扱所での事故が13件と最も多い。

第7表 過去5年間の危険物施設における災害事故発生件数

年	危険物施設の別 内訳	製造所 (A)	貯蔵所							取扱所					その他 (D)	合計 (A+B+C+D)		
			屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計 (B)	給油取扱所	第一種販売取扱所	第二種販売取扱所	移送取扱所			一般取扱所	小計 (C)
平成23年	火災								0						2	2	0	2
	漏えい							3	3	1					2	3	0	6
	その他								0						0	0	0	0
平成24年	火災								0						2	2	0	2
	漏えい			2		1		3	6	1					3	4	0	10
	その他								0	3					0	3	0	3
平成25年	火災								0						1	1	0	1
	漏えい					2		1	3							0	0	3
	その他							1	1						0	0	0	1
平成26年	火災								0						1	1	0	1
	漏えい			2					2						1	1	0	3
	その他							2	2						0	0	0	2
平成27年	火災	1							0							0	0	1
	漏えい							2	2	1					1	2	0	4
	その他			1					1						0	0	0	1
火災計		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	6	0	7
漏えい計		0	0	4	0	3	0	9	16	3	0	0	0	7	10	0	0	26
その他計		0	0	1	0	0	0	3	4	3	0	0	0	0	3	0	0	7
総計		1	0	5	0	3	0	12	20	6	0	0	0	13	19	0	0	40

注：1 危険物施設の別の「その他」には、危険物運搬中の事故または無許可の危険物施設など、許可を受けている危険物施設以外での事故件数を記載。

第6章 消防の概要

1 消防の組織〈消防機関と人員〉

昭和23年消防組織法施行後、市町村消防の原則が確立され、昭和48年7月1日大野地区消防組合が発足したことにより、県下全域にわたり消防の常備化が実現した。消防吏員は平成28年4月1日現在で1,206名である。

また、消防団員数は平成28年4月1日現在で5,781名であるが、近年の社会経済情勢の変化の影響を受けて、団員数の減少、サラリーマン団員の増加等の課題に直面しており、消防団の充実強化を一層推進することが必要である。

2 消防施設

(1) 消防機械

消防機械の保有状況は第8表および第9表のとおりであるが、特に近年の救急需要の増加に伴い、各消防本部とも高規格救急自動車の導入を推進している。これにより、高度な救急処置を実施することができ、救命率の向上を図っている。

(2) 消防水利

消防水利は、消防機械とともに、火災鎮火のために重要不可欠なものである。

これについては、消防に必要な水利の確保と管理のため「消防水利の基準」が定められ、その基準に適合したものを消防水利としている。消防水利には、消火栓、防火水槽、プール等の人工水利と河川等の自然水利があり、その保有状況は第11表のとおりである。

3 民間防火組織

(1) 幼年消防クラブ

幼年消防クラブは、幼年期における防火教育の重要性、防火活動を通じての正しい社会的態度の養成の必要性などの観点からはじめられたもので、幼稚園、保育園の指導者を中心に消防機関の協力を得て幼年消防活動を行うことにより、父母兄弟や近隣住民に対する防火思想の普及も効果的に図られている。

(2) 少年消防クラブ

少年消防クラブは、少年のころから火災予防に関する知識を身に付け、学校や各家庭における火災防止を図るとともに、火に関する諸原理を実際に即して勉強し、学校教育としての社会科、理科および家庭科の学習の補助を目的とするものであって、昭和25年に少年消防クラブ取扱要綱が制定され、続いて昭和28年に「全国少年消防クラブ運営指導協議会」（会長：消防庁長官）が設けられ、今日に至っている。

(3) 女性防火クラブ

女性防火クラブは、家庭において火を使用する機会の多い女性を対象に、火災予防の知識を養うことが必要であることから、任意に結成されたものであり、消防職団員の指導のもとに各家庭の防火診断、火災の初期活動等、女性による防火活動は重要な役割を果たしている。

4 表 彰

消防職員または消防団員の士気高揚を図るとともに、地域住民の消防に対する正しい認識と円滑な協力援助関係を確立するため、消防に関して功労のあった消防団員、消防機関その他の団体または個人に対し、各種表彰を行っている。

また、昭和58年より新たに県知事の定例表彰の中で、30年以上勤続の消防団員の配偶者等も表彰することにした。

5 消防の現況

第1表 消防職団員数の推移(各年4月1日現在)

区分	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46
消防職員数	150	163	203	201	231	227	262	257	268	293	328	351	354	372	381	421	461	521	594
消防団員数	11,835	10,701	8,487	8,275	8,091	7,342	7,174	7,147	7,118	6,744	6,759	6,731	6,751	6,754	6,491	6,388	6,303	6,191	6,019

47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	平成元	2	3	4
693	743	785	785	832	851	872	895	922	937	950	974	974	982	982	983	999	1,009	1,010	1,032	1,052
5,814	5,703	5,647	5,635	5,633	5,623	5,629	5,616	5,549	5,623	5,616	5,608	5,588	5,549	5,545	5,485	5,471	5,453	5,437	5,488	5,492

5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
1,090	1,101	1,119	1,141	1,162	1,169	1,183	1,186	1,190	1,188	1,190	1,193	1,192	1,190	1,189	1,184	1,183	1,180	1,192	1,196	1,189
5,497	5,519	5,502	5,533	5,523	5,518	5,497	5,499	5,483	5,460	5,436	5,439	5,442	5,406	5,411	5,411	5,480	5,560	5,656	5,688	5,661

26	27	28
1,188	1,206	1,206
5,720	5,797	5,781

第2表 消防機関の現況

区 分		平成27年4月(A)	平成28年4月(B)	増減(B-A)
消防本部・署	消防本部数	9	9	0
	消防署数	19	19	0
	出張所数	30	28	△2
	消防職員数	1,206	1,206	0
消防団	消防団数	18	18	0
	分団数	235	234	△1
	消防団員数	5,797	5,781	△16

第3表 消防の概況

平成28年4月1日現在

区分 消防(局)本部名	消防本部・署所				消防団						消防水利		基地局および固定局 移動局					
	設置別	消防署数	出張所数	(消防実員数)	自普通自動車数	自水槽付消防ポンプ自動車数	消防団数	分団数	消防団常備部数	団員数		消火栓(公設)		防火水槽				
										計	常勤				非常勤	自普通自動車数	小型動力ポンプ積載車	い車両に積載して
福井市	○	4	15	350	20	3	1	53	986	2	47	41	9,503	819	31	15	168	
大野市		1	1	55	4		1	10	485	10	22	1	424	280	26	5	50	
勝山市		1		37	2	1	1	12	288	3	10		247	196	14	17	64	
永平寺町		1		37	1	2	1	11	264	10	12		177	254	11	3	27	
嶺北消防組合		4	1	195	6	4	2	33	734	36	12		1,397	1,256	113	4	93	
鯖江・丹生消防組合		1	4	112	5	1	2	38	570	31	10	3	1,640	856	47	8	151	
南越消防組合		3	2	144	6	4	3	32	819	14	25	1	2,479	686	34	14	136	
敦賀美方消防組合		3	1	152	3	4	3	16	741	24	31		1,248	214	169	8	215	
若狭消防組合		1	4	124	7	3	4	29	894	9	37	57	1,052	493	56	6	89	
計	1	19	28	1,206	54	22	18	234	5,781	139	206	103	18,167	5,054	501	80	993	

第4表 階級別消防職員数

平成28年4月1日現在

区分	消防職員													条例定数				
	計 (A) + (B) + (C)	うち女性	消防吏員(実員)								その他の職員							
消防司監			消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	小計(B)	事務職員	技術職員	単純労務職員	小計(C)			
消防(局)本部名																		
福井市	372	4	1	4	29	70	82	55	38	71	350	22	()	()	22	()	22	356
大野市	57	2	()	1	4	8	14	9	7	12	55	2	()	()	2	()	2	55
勝山市	37	1	()	1	5	4	8	8	4	7	37	()	()	()	()	()	0	38
永平寺町	37	0	()	1	4	3	14	2	2	11	37	()	()	()	()	()	0	45
嶺北消防組合	199	6	1	10	31	41	30	44	37	195	4	()	()	()	4	()	4	206
鯖江・丹生消防組合	114	4	()	1	8	22	29	18	16	18	112	2	()	()	2	()	2	113
南越消防組合	146	4	()	1	11	29	46	15	22	20	144	()	()	()	2	()	2	154
敦賀美方消防組合	154	2	()	1	13	23	26	25	22	42	152	()	()	()	2	()	2	156
若狭消防組合	125	1	()	1	7	25	27	12	21	31	124	()	()	()	1	()	1	130
計	1,241	24	2	12	91	215	287	174	176	249	1,206	35	0	0	35	0	0	1,253

注: 下段の()は、女性職員の内数

第5表 階級別非常勤消防団員数

平成28年4月1日現在

階級別 消防(局)本部	合計	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	条例定数
福井市	986 (8)	5 ()	4 ()	52 ()	52 ()	98 ()	98 (1)	677 (7)	1,011
大野市	485 (100)	1 ()	2 ()	10 (1)	12 (2)	36 (3)	72 (6)	352 (88)	485
勝山市	288 (24)	1 ()	2 ()	12 ()	12 ()	25 (1)	34 (2)	202 (21)	299
永平寺町	264 (17)	1 ()	2 ()	13 (1)	11 (1)	()	33 (1)	204 (14)	315
嶺北消防組合	734 (20)	2 ()	8 ()	33 ()	53 ()	()	66 (4)	572 (16)	773
鯖江・丹生消防組合	570 (17)	2 ()	5 ()	38 ()	34 ()	()	84 (1)	407 (16)	627
南越消防組合	819 (51)	3 ()	9 ()	32 (2)	32 (2)	()	81 (3)	662 (44)	841
敦賀美方消防組合	741 (26)	3 ()	4 ()	17 ()	18 ()	51 ()	85 ()	563 (26)	746
若狭消防組合	894 (7)	4 ()	6 ()	29 ()	21 ()	58 ()	100 (1)	676 (6)	894
計	5,781 (270)	22 (0)	42 (0)	236 (4)	245 (5)	268 (4)	653 (19)	4,315 (238)	5,991

注: 下段の()は、女性団員の内数

第6表 年齢別消防吏員・消防団員数

平成28年4月1日現在

年齢別 消防(局)本部名	消 防 吏 員										消 防 団 員										平均年齢 (D) (C)				
	(A)のうち										(C)のうち														
	18歳 〜 19歳	20歳 〜 24歳	25歳 〜 29歳	30歳 〜 34歳	35歳 〜 39歳	40歳 〜 44歳	45歳 〜 49歳	50歳 〜 54歳	55歳 〜 59歳	60歳 〜 64歳	65歳 以上	18歳 〜 19歳	20歳 〜 24歳	25歳 〜 29歳	30歳 〜 34歳	35歳 〜 39歳	40歳 〜 44歳	45歳 〜 49歳	50歳 〜 54歳	55歳 〜 59歳		60歳 〜 64歳	65歳 以上		
福井市	10	34	42	34	26	64	36	45	59	14,449	41.3	986	1	13	22	75	124	175	174	150	141	80	31	46,531	47.2
大野市	1	7	9	5	5	11	3	9	5	2,169	39.4	485	0	4	32	50	75	77	77	71	59	33	7	21,440	44.2
勝山市	1	0	7	2	5	10	4	6	2	1,445	39.1	288	0	1	14	32	36	58	33	44	50	19	1	13,155	45.7
永平寺町	1	4	6	3	5	8	3	3	4	1,542	41.7	264	3	16	10	25	53	57	46	31	12	10	1	11,483	43.5
嶺北消防組合	4	28	31	24	25	41	20	11	11	7,375	37.8	734	0	5	32	57	130	153	148	107	57	33	12	32,843	44.7
鯖江・丹生消防組合	3	13	15	11	20	22	9	8	11	4,173	37.3	570	1	20	40	96	130	156	70	34	16	5	2	22,677	39.8
南越消防組合	1	21	20	8	15	32	13	16	18	5,558	38.6	819	0	18	32	57	132	163	154	118	79	50	16	34,769	42.5
敦賀美方消防組合	7	24	25	31	21	24	7	3	10	5,121	33.7	741	1	20	78	155	189	109	62	45	50	21	11	29,199	39.4
若狭消防組合	5	21	24	12	15	16	8	8	15	4,330	34.9	894	1	33	110	165	272	180	90	37	5	1		33,105	37.0
計	1,206	33	152	179	130	137	228	103	135	46,162	38.3	5,781	7	130	370	712	1,141	1,128	854	637	469	252	81	245,202	42.4

注:18歳〜19歳の欄は18歳未満含む。

第7表 在職年数別消防吏員および消防団員数

平成28年4月1日現在

年数別 消防(局)本部名	消 防 吏 員								消 防 団 員											
	消				防				非				常				勤			
	合 計	5年未滿	5・10年未滿	10・15年未滿	15・20年未滿	20・25年未滿	25・30年未滿	30年以上	合 計	5年未滿	5・10年未滿	10・15年未滿	15・20年未滿	20・25年未滿	25・30年未滿	30年以上				
福 井 市	350	66	41	20	32	47	35	109	986	217	251	143	119	100	81	75				
大 野 市	55	10	8	4	6	10	5	12	485	161	96	54	56	49	28	41				
勝 山 市	37	5	5	3	5	8	5	6	288	52	61	48	55	36	27	9				
永 平 寺 町	37	11	2	1	5	10	1	7	264	97	68	39	24	26	8	2				
嶺 北 消 防 組 合	195	41	41	16	11	43	19	24	734	167	156	123	127	71	58	32				
鱒 江 ・ 丹 生 消 防 組 合	112	19	18	12	15	20	10	18	570	168	147	116	78	42	15	4				
南 越 消 防 組 合	144	30	16	6	21	26	15	30	819	227	142	133	112	103	66	36				
敦 賀 美 方 消 防 組 合	152	41	30	19	13	29	8	12	741	256	233	130	44	35	29	14				
若 狹 消 防 組 合	124	30	22	10	15	12	9	26	894	333	249	163	87	40	18	4				
計	1,206	253	183	91	123	205	107	244	5,781	1,678	1,403	949	702	502	330	217				

第8表 消防ポンプ自動車等現有数(消防本部・署)

平成28年4月1日現在

区分	消防本部・署 現有													その他車両								
	普通消防ポンプ自動車	水槽付消防ポンプ自動車	はしご付消防ポンプ自動車 (ポンプ付でないものを含む)	消防ポンプ自動車	大型高所放水車	泡原液搬送車	化学消防ポンプ自動車	指揮車	照明車	積載しないもの 小型動力ポンプ付	積載するもの 小型動力ポンプ付	広報車	資機材搬送車		屈折放水塔車	水槽車	支援車	人員搬送車	防災指導車	救急自動車	救助工作車	
消防(局)本部名																						
福井市消防局	20	3	2	1	1	1	1	4	5		7	6	4			1	1		11 (11)	2		6
大野市消防本部	4		1				1	1	1			2	2		1				4 (4)	1		
勝山市消防本部	2	1	1					1	1			1	1						3 (3)	1		
永平寺町消防本部	1	2							1		2	1	1						3 (3)	1		
嶺北消防組合	6	4			1			4	5		7		5			1			8 (8)	3		5
鯖江・丹生消防組合	5	1				1		2	2			6	1		1				6 (6)	1		
南越消防組合	6	4	1			1		2	3		1	8	5			1			8 (7)	3		
敦賀美方消防組合	3	4	1			1		2	1		3	1	5			1			6 (6)	2		
若狭消防組合	7	3				1		1	1		6	6	2				1		6 (6)	1		
計	54	22	4	2	4	3	1	17	20	0	26	31	26	0	4	4	2	55 (54)	15		11	

注:救急自動車の()書きは高規格救急自動車以内数。

第9表 消防ポンプ自動車等現有数（消防団）

平成28年4月1日現在

種別 消防(局)本部名	消防団現有			
	普通消防ポンプ自動車	水槽付消防ポンプ自動車	小型動力ポンプ	
			小型動力ポンプ付積載車	車両に積載していないもの
福井市	2		47	41
大野市	10		22	1
勝山市	3		10	
永平寺町	10		12	
嶺北消防組合	36		12	
鯖江・丹生消防組合	31		10	3
南越消防組合	14		25	1
敦賀美方消防組合	24		31	
若狭消防組合	9		37	57
計	139	0	206	103

第10表 化学消火薬剤備蓄状況

平成28年4月1日現在

種別	化学消火剤種別														
	計		たん白系		合成界面 活性剤	水成膜泡 消火薬剤 (kl) (ト)	水溶性液体用泡 消火薬剤 (耐アルコール用) (kl) (ホ)	粉末(kg)							
	(A)	(B)	3%型 (kl) (ア)	6%型 (kl) (イ)				第1種 粉末 (カ)	第2種 粉末 (キ)	第3種 粉末 (ク)	第4種 粉末 (ケ)				
消防(同)本部名	(kg) (ア)~(カ)	(kg) (カ)~(ケ)	(kl) (ア)	(kl) (イ)	(kl) (ウ)	(kl) (エ)	(kl) (ホ)								
福井市	14.85	0.00	10.40	0.09	1.63	2.39	0.34								
大野市	2.03	0.00			2.03										
勝山市	0.96	0.00			0.96										
永平寺町	0.50	0.00			0.50										
嶺北消防組合	30.66	0.00	4.98		3.94	18.12	3.62								
鯖江・丹生消防組合	4.40	0.00			1.32	3.08									
南越消防組合	3.52	0.00			0.64	2.88									
敦賀美方消防組合	4.34	0.00	0.87		2.69	0.50	0.28								
若狭消防組合	1.34	0.00			1.34										
計	62.60	0.00	16.25	0.09	15.05	26.97	4.24	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

第12表 消防機関の出動状況

平成27年中

区分	種別	火災		風水害等の災害		演習訓練		広報指導		警防調査		火災原因調査		特別警戒		捜索		予防		誤報等		その他	
		(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	(オ)	(カ)	(キ)	(ク)	(ケ)	(コ)	(ク)	(ケ)	(コ)	(ク)	(ケ)	(コ)	(ク)	(ケ)	(コ)	(ク)	(ケ)	(コ)
消防本部・署所	出動回数	23,495	186	17	2,937	3,743	6,690	217	961	20	7,570	49	1,105										
	出動延人数	71,271	2,650	91	14,695	10,042	17,463	1,236	3,523	166	17,799	406	3,200										
消防団	出動回数	2,915	110	2	673	263	23	0	327	0	1	4	1,512										
	出動延人数	40,027	2,244	10	16,840	2,695	325	0	5,531	0	3	42	12,337										

第13表 消防吏員・団員の公務による死傷者数

平成27年中

区分	種別	火災		風水害等の災害		演習訓練		特別警戒		捜索		その他	
		(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	(オ)	(カ)	(キ)					
消防吏員	死者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	負傷者	6	0	0	0	3	0	0	0	0	0	3	
消防団	死者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	負傷者	4	1	0	0	3	0	0	0	0	0	0	

第14表 火災通報施設等の現況

平成28年4月1日現在

区分 消防(局)本部名	火災報知機			テレビ 監視装置 (基)	望楼		電話				救急指令装置				
	受信機 (基)	発信機			小計 (ウ)+(エ) (基)	24時間 監視を している (ウ) (基)	その他 (エ) (基)	火災報知 専用電話 (オ) (回線)	消防機関にあるもの		加入電話 (キ) (回線)	救 急 指 令 専 用	消 防 指 令 装 置 と 併 用		
		小計 (ア)+(イ) (基)	公衆用 (ア) (基)						自衛用 (イ) (基)	小計 (カ)+(キ) (回線)				回線 (カ) (回線)	1ヶ月あ たりの経 費 (千円)
福井市	0			0			26	99	160	40		1			
大野市	0			1			13	2	5	24					
勝山市	0			0			6			7					
永平寺町	0			0			12			5		1			
嶺北消防組合	0			0			14			33					
鯖江・丹生消防組合	0			0			13	5	223	37		1			
南越消防組合	0			0			12	2	6	15					
敦賀美方消防組合	0			0			11	9	248	23					
若狭消防組合	0			1			8	8		24					
計	0	0	0	2	0	0	115	125	642	208	0	3			

第15表 無線通信施設の現況

平成28年4月1日現在

種別	消防・救急業務用無線（アナログ方式）										消防・救急業務用無線（デジタル方式）														
	固定局					基地局および携帯基地局					移動局					基地局および携帯基地局					移動局				
	局数	多重	その他	「その他」の電波の局数		基地局	携帯基地局	全国共通波	県内共通波	波の数		基地局	携帯基地局	統制波	主運用波	活動波	防災相互波	陸上移動局数	携帯局数	その他の無線局数					
				単信波	複信波																				
局	多重	その他	その他	その他	基地局	携帯基地局	全国共通波	県内共通波	単信波	複信波	基地局	携帯基地局	統制波	主運用波	活動波	防災相互波	陸上移動局数	携帯局数	その他の無線局数						
消防(局)本部名																									
福井市														3	1	5		77	67						
大野市					2		1	1	1				3	1	2		37								
勝山市					1			1					3	1	2		42								
永平寺町													3	1	2		12	15							
嶺北消防組合												4		3	1	3		87							
鯖江・丹生消防組合							3	1					5	1	2		97								
南越消防組合													7	1	3		48	88							
敦賀美方消防組合													8	1	2		137								
若狭消防組合													6	1	2	1	89								
計	0	0	0	0	6	0	4	3	1	0	197	0	0	27	9	23	1	626	170	0					

第16表 幼年消防クラブの現況

平成28年4月1日現在

種別	組織別クラブ数					組織別クラブ員数					指導者数					
	計	幼稚園 保育園 単位	学校 単位	市町村 単位	地区 単位	その他	計	幼稚園 保育園 単位	学校 単位	市町村 単位	地区 単位	その他	計	幼稚園 保育園 単位	学校 単位	その他
消防(局)本部名																
福井市	2	2					44	44					2	2		
大野市	17	17					1,083	1,083					16	16		
勝山市	13	13					510	510					167	167		
永平寺町	10	10					664	664					52	52		
嶺北消防組合	47	47					4,548	4,548					47	47		
鯖江・丹生消防組合	39	39					1,357	1,357					105	105		
南越消防組合	37	37					872	872					37	37		
敦賀美方消防組合	35	35					2,793	2,793					35	35		
若狭消防組合	1	1					33	33					3	3		
計	201	201	0	0	0	0	11,904	11,904	0	0	0	0	464	464	0	0

第17表 少年消防クラブの現況

平成28年4月1日現在

種別	組織別クラブ数				組織別クラブ員数				指導者数				
	計	学校単位		市町村単位	地区単位	その他	計	学校単位		計	小学校	中学校	その他
		小学校	中学校					小学校	中学校				
消防(局)本部名													
福井市	50	50					2,368				68		
大野市	15	10	5			313	86			14	10	4	
勝山市	17	3		4	10	376		86	778	52	6		46
永平寺町	13				13	246			246	30			30
嶺北消防組合	27	27				987				27	27		
鯖江・丹生消防組合	20	20				2,650				120	120		
南越消防組合	21	21				867				21	21		
敦賀美方消防組合	12	12				309				12	12		
若狭消防組合	0					0				0			
計	175	143	5	4	23	9,066	86	0	86	344	264	4	76

第18表 女性防火クラブの現況および活動状況

平成28年4月1日現在

種別	合計		周囲の状況						活動状況別組織数		
	組織数 (ア)+(イ)+(ウ)+(エ)	人員 (カ)+(キ)+(ク)+(ケ)	市街地		農山村地域		漁村地域		消防活動を行う	消防活動は行わないが、炊き出し、連絡、救護等を行う	(a)(b)は行わず、予防の啓蒙活動を行っている
			組織数 (ア)	人員 (カ)	組織数 (イ)	人員 (キ)	組織数 (ウ)	人員 (ク)			
消防(局)本部名											
福井市	35	1,793	14	553	18	774	3	466	9		26
大野市	6	145			6	145			5	1	
勝山市	9	270	3	150	6	120			9		
永平寺町	2	40	1	22							1
嶺北消防組合	2	645	2	645							2
鯖江・丹生消防組合	22	1,454	7	174	12	532	3	748	12		10
南越消防組合	23	242	13	124	10	118			23		
敦賀美方消防組合	10	1,602	2	1,498	5	76	3	28	8	2	
若狭消防組合	18	251			10	190	8	61	18		
計	127	6,442	42	3,166	67	1,955	17	1,303	84	3	39

第19表 消防表彰受賞状況

種 類		年 度										
		18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	
叙 勲		19	21	23	24	23	22	21	22	23	21	
藍 綬 褒 章			4	1				3	3	2		
消 防 庁 長 官 表 彰	功 勞 章	1	2	2	1	2	1	2	2	2	1	
	永年勤続功勞章	21	20	20	20	21	21	21	21	21	22	
	表 彰 旗											
	竿 頭 綬								1	1	1	
	消防団 地域 活動	消 防 団	1			1	1	1	1	1	1	1
		事 業 所		1		1	1	1			1	
	少年 消防 クラブ	表 彰 旗	1				1			1		
		表 彰 楯		1	2	1		1	1		1	1
		指 導 者										
	福 井 県	功 勞 章	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40
永年勤続精績章		129	117	154	141	142	155	152	154	177	132	
銀 杯		30 年 以 上										
		退職10~15年未満	59	58	66	75	66	70	67	71	73	49
知 事 表 彰	感謝状	退 職 幹 部	14	23	23	24	24	22	22	33	16	49
		人 命 救 助 そ の 他										
		夫 人 表 彰	27	29	26	22	36	33	28	26	33	33
彰	竿 頭 綬											
	特 別 功 勞 章											

第7章 消防教育訓練

1 消防学校の概要

(1) 沿革

昭和34年7月16日 福井市水越町に福井県消防学校設置。
 昭和47年11月1日 福井市合谷町へ移転。
 平成8年4月1日 福井市大畑町へ再移転、現在に至る。

(2) 施設概要

ア 所在地等 (ア) 所在地 福井市大畑町97-21-3
 (イ) 敷地面積 40,759.02㎡

イ 建物工作物等

建物構造および規模

・ 敷地面積 40,759.02㎡ ・ 建物延面積 8,001.62㎡

名称	規模・構造	延べ面積(㎡)	内容
教育管理棟 宿泊施設(3階)	R C造3階	3,249㎡	1階 校長室 講師控室 職員室 会議室 防災倉庫 2階 普通教室(60人)(40人) 談話室 図書室 視聴覚室 理化学室(各種実習室併設) 等 3階 寮室(20室) トレーニングルーム 娯楽室
体育館	鉄骨造2階建	2,106.25㎡	1階 食堂 学生ホール 和室 倉庫 2階 アリーナ
雨天訓練場	鉄骨平屋建	1,091.22㎡	訓練場(救助、ポンプ操法訓練施設) 訓練資器材庫 訓練車両庫
訓練塔(主)	S R C造 地下1階建 地上8階建	594.84㎡	立坑訓練室 耐煙迷路室 消火設備実験室 垂直救助訓練 水平ロープ渡過 ブリッジ救出訓練施設 放水訓練室 水平救助・担架吊り下げ救出訓練施設 梯子車注水訓練室 積載梯子上救出訓練施設 梯子車進入訓練室 高所活動・人命検索訓練施設 救助袋等避難器具取扱訓練室 地下火災実験室
訓練塔(補助)	鉄骨造 地上7m	A塔 70.44㎡ B塔 32.86㎡	人命救助訓練施設 引上救助訓練施設 中高層建物防御訓練施設 斜め救助訓練施設 障害突破 垂直降下訓練施設
水難訓練用プール (兼、潜水訓練)	F R P 製	25m×5コース 水深1.5m～3.0m 容量630m³ 採水口4箇所(ポンプ車用) 機械室・便所(34.43㎡)	
その他施設	油火災消火訓練施設(耐火レンガ造) 直径3m×高さ0.5m 防火訓練壁 幅14m×高さ4m 受水槽20㎡ 煙道訓練施設 間口1.0m×1.0m		
屋外訓練場	7,800㎡ (120m×65m) 1周200mグラウンド		

2 教育訓練

消防職団員の各種教育訓練を第1表および第2表のように実施し、人的消防力の充実向上を図るとともに、より高度の専門的知識を修得させた。

また、第3表のとおり消防大学校へ職員が派遣された。

平成27年度 消防(局)本部別受講者数

区分	項目	実施年月日	教育 実日数	延時間	消 防 (局)										本 部	名	
					福井	敦賀	大野	勝山	鯖江	丹生	嶺北	永平寺	合計				
消 防 職 員	教育訓練の種類																
	初任教育(第50期)	27.4.3~9.29	120	835	15	8	4	3	2	3	3	9	3	52			
	幹部教育	27.12.2~12.15	10	70	4	2	1	1	1	2	3	1	17				
	中級幹部科	隔年実施のため中止															
	上級幹部科(第10期)	27.6.24~6.26	3	21	4	2	1	1	1	1	2	2	14				
	奮防科	隔年実施のため中止															
	特殊災害科(第7期)	27.11.12~11.20	7	49	5	2	2	1	1	2	3	1	19				
	予防査察科(第12期)	28.2.15~2.26	10	70	4	2	2	1	1	2	2	1	16				
	危険物科	隔年実施のため中止															
	火災調査科(第21期)	28.1.7~1.21	10	70	4	2	2	1	1	2	3	1	18				
	救助科(第39期)	27.10.5~11.6	23	161	4	2	2	1	1	2	4	18					
	救急科(第23期)	28.1.26~3.16	36	252	8	6	3	4	2	3	8	3	38				
	水難救助科(第20期)	27.7.8~7.24	12	84	5	2	2	1	1	2	3	1	18				
	特別講座等	(下記公開講座に記載)															
操作指導員教育	27.4.16~4.17	2	14	5	4	4	4	2	4	4	2	33					
起震車操作員教育(新規養成)	27.5.19	1	6	9	4	3	2	1	1	4	2	37					
小 計		234	1,632	67	36	27	28	15	13	34	45	15	280				
初級幹部科	27.11.14~11.15	2	12	9	8	3	8	6	2	5	2	1	44				
指揮幹部科																	
現場指揮課程	27.11.28~11.29	2	14	5	4	2	4	3	2	2	2	1	25				
分団指揮課程	27.12.12~12.13	2	10	5	6	3	5	6	2	4	3	3	37				
消防団員指導員教育(日消)	27.11.7~11.8	2	12	1	3	2	3	1	1	2	2	1	16				
小 計		8	48	20	21	10	20	16	7	13	9	6	122				
自衛消防隊幹部教育	27.12.17	1	7	7	25	11	3	11	2	1	3	63					
女性防火クラブ員教育(第1回)	27.3.8	1	6	9		5		4	2		6	26					
自主防災組織員教育(第1回)	27.10.4	1	3					10	1	1	5	17					
自主防災組織員教育(第2回)嶺南	27.12.6	1	3		27							27					
自主防災組織員教育(第3回)	28.2.7	1	3	17		3			2	1	12	35					
市町新規採用職員研修	27.10.23、10.30	2	6														
小 計		7	28	33	52	19	3	25	7	3	26		168				
合 計		249	1,708	120	109	56	51	56	27	50	80	21	570				
上級幹部科	27.6.25	1	4	12	4	10	5	2	2	2	4	1	42				
救助科	27.10.28	1	4	12	5	6	4	2	2	2	4	4	39				
特殊災害科	27.11.13	1	4	8	5	5	7	2	6	2	8	4	45				
火災調査科	28.1.14	1	4	9	3	6	4	2	4	15	4	4	51				
救急科	28.3.2	1	4	8	5	4	5	2	3	7	4	4	42				
小 計		5	20	49	22	31	25	10	17	24	24	17	219				
公 開 講 座 合 計		254	1,728	169	131	87	76	66	44	74	104	38	789				
総 計																	

第2表 平成27年度消防学校教育訓練実施状況

区分	項目	入校者数	教育実日数	教育時間数	担当講師別時間数				
					学校	県	消防	専門	
消防職員	初任教育(第50期)	52	120	835	535	37	202	61	
	幹部教育	初級幹部科(第41期)	17	10	70	16	9	17	28
		中級幹部科							
		上級幹部科(第10期)	14	3	21	2	2	6	11
	専科教育	警防科							
		特殊災害科(第7期)	19	7	49	26	6		17
		予防査察科(第12期)	16	10	70	16	4	46	4
		危険物科							
		火災調査科(第21期)	18	10	70	7	9	37	17
		救助科(第39期)	18	23	161	21	8	111	21
	特別教育	救急科(第23期)	38	36	252	7	7	61	177
		水難救助科(第20期)	18	12	84	8		76	
		操法指導員教育	33	2	14	2		12	
		起震車操作員教育	37	1	6	6			
	小計	280	234	1,632	646	82	568	336	
消防団員	初級幹部科	44	2	12	12				
	指揮幹部科								
	現場指揮課程	25	2	14	1		13		
	分団指揮課程	37	2	10	6	2		2	
	消防団指導員教育(日消)	16	2	12	10	2			
	小計	122	8	48	29	4	13	2	
一般・その他	自衛消防隊幹部教育	63	1	7	5			2	
	女性防火クラブ員教育	26	1	6	3			3	
	自主防災組織員教育	79	3	9	6			3	
	(市町新規採用職員研修)	(199)	2	6	6				
	小計	168	7	28	20	0	0	8	
	合計	570	249	1,708	695	86	581	346	
公開講座	上級幹部科	42	1	4				4	
	救助科	39	1	4				4	
	特殊災害科	45	1	4				4	
	火災調査科	51	1	4				4	
	救急科	42	1	4				4	
	公開講座合計	219	5	20	0	0	0	20	
	総合計	789	254	1,728	695	86	581	366	

第3表 平成27年度消防大学校派遣者数

学 科	派遣者数	備 考
幹部科 (第42期)	4	福井市、大野市、南越、消防学校
(第43期)		
(第44期)		
警防科 (第97期)	1	永平寺町
救助科 (第71期)	1	嶺北
予防科 (第98期)	1	福井市
危険物科 (第10期)	1	若狭
火災調査科 (第30期)	1	敦賀美方
新任教官科 (第9期)	1	消防学校
指揮隊長コース (第14回)	1	嶺北
高度・特別高度救助コース (第5回)	1	敦賀美方
航空隊長コース (第15回)	1	防災航空事務所
危機管理・国民保護コース (第5回)	2	福井市、嶺北
自主防災組織育成コース (第11回)	2	嶺北、消防学校
合計	17	